

第58回神代植物公園菊花大会

昭和36年の開園当初から続く「神代植物公園菊花大会」は58回を数えます。三本仕立て、ダルマ作り、福助作り、懸崖仕立て等の鉢物、盆栽等、今回も表情豊かな力作が多数出品され、大会期間中、園内を賑やかに彩ります。

また、白・黄・赤の三色、各色四鉢ずつ、合計十二鉢で構成する個人花壇は、今回も大きな見どころのひとつとなっています。

見事に仕立てられた菊の姿からは出品者の努力が感じられ、見る者を惹きつけます。伝統が脈打つ菊の姿を秋空の下で、お楽しみください。

- 開催期間 平成30年10月26日(金)～11月18日(日)
- 内容 三本仕立て、ダルマ作り、福助作り、懸崖仕立て等の鉢物、盆栽等の展示。
- 入園料 一般500円・65歳以上250円・中学生200円
小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料
- ★交通 京王線から調布駅から小田急バス吉祥寺駅または三鷹駅行き「神代植物公園前」下車、または京王バス深大寺行き「神代植物公園前」下車 JR中央線から三鷹駅または吉祥寺駅から小田急バス調布駅北口または深大寺行き「神代植物公園前」下車



神代植物公園サービスセンター
TEL: 042-483-2300
HP: <https://www.tokyo-park.or.jp/jindai/>
Twitter: @ParksJindai



「東京 橋と土木展」を開催します!

新宿駅西口イベントコーナーで「東京 橋と土木展」を開催します。今年の展示は「戦前の橋」をテーマに、昭和初期の時代に都内に架けられた橋の写真や図面など貴重な資料を展示します。さらに、東京都復興記念館に所蔵されている「東京市五千分の一模型(昭和4年製作)」のほか、「勝間橋」模型も展示します。

また、毎年11月18日の土木の日に合わせて土木学会が主催する「土木コレクション2018」も同時開催されます。

- 開催期間 平成30年11月20日(火)～11月23日(金・祝)
- 開催時間 8時(20日は12時)～21時(23日は17時)まで
- 開催場所 新宿駅西口広場イベントコーナー
- 入場料 無料



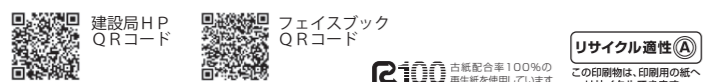
建設局土木技術支援・人材育成センター
TEL: 03-5683-1500
HP: <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/tech/start/index.html>



東京都建設局 ツイッター・フェイスブックもご覧ください

- 発行/平成30年11月 ●編集発行者/東京都建設局総務部総務課広報担当
新宿区西新宿2-8-1 TEL(03)5320-5212
- 登録番号(30)43 ●印刷/光栄印刷(株) ●制作協力/パール商事(株)

ホームページ <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/>
建設局 ツイッター @tocho_kensetsu
フェイスブック <https://www.facebook.com/kensetsu.metro.tokyo.jp>



錦秋染まる旧古河庭園

旧古河庭園では紅葉の季節に合わせて「錦秋染まる旧古河庭園」を開催いたします。イベント期間中は、津軽三味線や琵琶のコンサートをお楽しみいただけます。大正ロマンに浸りながら、秋色に染まる日本庭園と洋館をご堪能ください。皆様のご来園をお待ちしております。

- 開催日時 平成30年11月17日(土)～12月2日(日)
- 内容 ①秋を彩る演奏会・津軽三味線 11月23日(金・祝)
②秋を彩る演奏会・琵琶 11月24日(土)
※①②ともに1日2公演(12時、15時)
③大正気分で人力車11月24日(土)定員80人
11時30分～15時(受付は11時～14時30分)
④伝統技能見学会・雪吊り 12月2日(日)
10時、13時

- 入園料 一般150円、65歳以上70円
小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料
- ★交通 JR京浜東北線「上中里」下車 徒歩7分
東京メトロ南北線「西ヶ原」下車 徒歩7分
JR山手線「駒込」下車 徒歩12分



旧古河庭園サービスセンター
TEL: 03-3910-0394
HP: <https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index034.html>
Twitter: @kyufurukawa



ミニ門松づくり教室に参加してみませんか

お正月に家の門の前などに立てられる正月飾り。松や竹などを使った手づくりのミニ門松で、新年をお祝いしませんか?
日本伝統の飾り結び「梅結び」の方法など、作り方は公園スタッフが丁寧にレクチャーします。

材料、道具もすべてこちらでご用意いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

- 開催日時 平成30年12月23日(日) 9時30分～12時30分頃
- 開催場所 潮風公園
- 参加費 門松1対 3,000円(材料費等込)
- 定員 24組(1組4名様)※応募者多数の場合抽選
- 申込方法 ホームページにて受付※締切12月12日(水)
[ゆりかもめ] 「台場」または「船の科学館」下車 徒歩5分
[お車] 潮風公園134台(北駐車場)274台(南駐車場)
[バス] (門前仲町駅発)「台場駅前/船の科学館駅前」下車徒歩5分
(大井町駅発)「台場駅」下車徒歩5分
- ★交通



東京港埠頭(株)企画開発課
TEL: 03-3599-7305
HP: <http://www.tptc.co.jp/park/event/detail/566>



イキモノのイキな話 108



ルリカケスは、どんぐりを貯める?

恩賜上野動物園 東園飼育展示係 宇野なつみ

上野動物園の東園「日本の鳥」では、日本の固有種で奄美群島(奄美大島や加計呂麻島など)にのみ生息する、ルリカケスを展示しています。この鳥は国の天然記念物にも指定されている希少種です。

ルリカケスは生息地が限られており、病気や自然災害などの影響で生息数を急激に減らすことが考えられるため、上野動物園では平成21年(2009年)から野生に影響を及ぼさない範囲内でヒナを動物園に連れてきて育て、万が一のときに絶滅を防ぐための群れを保持しています。この群れは、血縁などを考慮して計画的に飼育下繁殖するよう力を入れています。あわせて、ルリカケスを展示することにより、来園者にその魅力や保全の重要性などを伝えていきます。

ルリカケスには、秋から冬にかけて見られる季節限定の習性があります。野生では昆虫や植物の果実などを食べる雑食性の鳥ですが、秋になると、どんぐりを好んで採食します。そして、エサの少ない冬に備えてどんぐりを土の中に埋め、後で土を掘り返して食べる「貯食」という行動をとります。時々、埋めたどんぐりを食べ忘れ、そこから芽が出てくることもあり、ルリカケスは奄美群島の森を育てる役割もしています。

飼育しているルリカケスが野生に近い行動をとるように、秋頃からどんぐりを多く与えており、鳥が嘴を器用に使ってどんぐりを地面に埋める姿を見ることが出来ます。冬になると、秋に埋めたどんぐりを掘り返す姿も見られます。

上野動物園にお越しの際は、ルリカケスの行動を観察してみてください。貯食中のルリカケスに出会えるかもしれません。

東京2020大会 都市ボランティア募集中!

TOKYO 2020 ボランティア募集
都では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で主要駅や競技会場周辺、ライブサイトにおいて観光・交通案内を行う都市ボランティアを募集しています!

- 締切 平成30年12月5日(水)正午まで
- 応募方法 ○ウェブサイト「東京ボランティアナビ」による申込み
<http://www.city-volunteer.metro.tokyo.jp>
○郵送又はファックスによる申込み
都庁舎等で配布している専用申込用紙に必要事項を記載し、「東京2020大会 都市ボランティア募集事務局」へ

東京2020大会 都市ボランティア募集事務局
TEL: 0570-05-2020
(平日9:00～18:00)
HP: <http://www.city-volunteer.metro.tokyo.jp>



これって何のためにあるの?

道路の交通事故防止対策



東京都では、道路の利用者を交通事故から守るため、道路の交通安全施設の整備を進めています。今回は、代表的な対策方法をご紹介します。

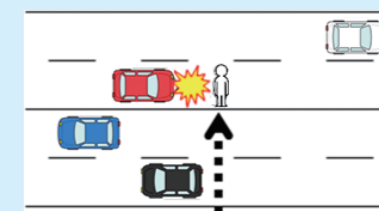
1 中央分離帯

中央分離帯を設置することで、反対車線に車が逸脱するのを防ぐとともに、歩行者のみだりな横断を防ぎます。

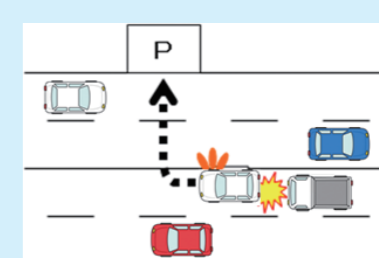


中央分離帯

中央分離帯の設置で防止できる事故の例



横断歩道のない場所で、無理に横断しようとする歩行者と車両との接触事故。このような死亡に至る事故が多発している。



右折横断して駐車場等に入るために減速する車両と後続車との追突事故やその右折車両と対向車との衝突事故。

2 車道改良(滑り止め舗装)

横断歩道付近や交通事故が多発しているカーブ区間に滑り止め舗装を施すことにより、事故危険を注意喚起するとともに、急ブレーキによる車のタイヤスリップを防止します。



問い合わせ先 道路管理部安全施設課 TEL: 03-5320-5301

建設局クイズ この橋どこの橋?

問題

写真に写っている橋は戦前の昭和5年(1930年)に完成し、現存している橋です。この橋は何という橋でしょう。



昭和6年撮影

- ①勝間橋(かちどきばし)
- ②日本橋(にほんばし)
- ③音無橋(おとなしばし)

正解

A

正解は③音無橋
造形の似ている聖橋を思い浮かべた人がいるかもしれませんが、聖橋や①勝間橋、②日本橋などの著名な橋に比べて③音無橋は馴染みが薄いかもしれませんが、先の3橋と同じく現在もその姿を残している橋です。(音無親水公園(北区管理)にて写真と現在の姿を比べることができます。)
11月に開催する「橋と土木展」(本号に掲載案内を掲載)では、「戦前の橋」をテーマに音無橋のほか、同じ頃に造られた橋の写真や図面を展示します。あなたのお気に入りの橋をみつけてみて下さい。

